

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	吸管を延長した際、道路脇の側溝の隙間に足が落ち（嵌まり）転倒して受傷した事案
3. 体験した事例の中心的要素	建物火災の現場活動中、道路脇にある防火水槽へ部署し、機関員が消防車の吸管を伸ばし始めたところ、道路脇側溝の蓋と蓋の間に隙間があることに気が付かず、その隙間に右足が落ち（嵌まり）転倒して受傷したもの。
4. 体験した事例の原因・理由	・日没間際で薄暗く周囲の状況を把握しづらかったため。 ・他の側溝部分に蓋がされていたため、隙間があるとは思わなかったため。

【体験した事例の直接的原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。（大丈夫だろうと思った。）
------------------	------------------------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	令和5年9月19日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：センターライン及び信号機の無い幅員6m×4m道路の交差点付近
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[その他建物]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	水利部署
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）



○当事者A	年齢[53]歳、勤続年数[36]年、現場経験年数[36]年、階級[消防司令補] 同様の活動[頻繁]、任務[機関員]
○当事者B	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[]年、階級[] 同様の活動[], 任務[]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。



	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A(機関員)	現場到着後にタンク水放水操作を始めた。	
経過2	当事者A(機関員)	防火水槽部署のため吸管の延長を始めた。	
経過3	当事者A(機関員)	蓋と蓋の間にあった隙間に右足が落ちた。	
経過4			
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思えるか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思えるか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた 集中力、注意力がなかった たまたま、事故になった

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなけりばならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息(鎮火等)や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

車両の交通量が多く一般車両の制止等に気をとられ初動が遅れてしまったため焦りが生じた。
--

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

今回は特に自所属の管轄外地域での火災であるにも関わらず、かつホース延長が14本もあって時間的な要素も余裕があったはずだが、当事者の焦りのため事故が発生してしまったことから、慌てる要素がない時には出場している隊員同士で焦りを感じさせることの無いように、声掛けや的確な活動をするため意思疎通を図るようにした。

○装備・資機材の対策について

該当なし

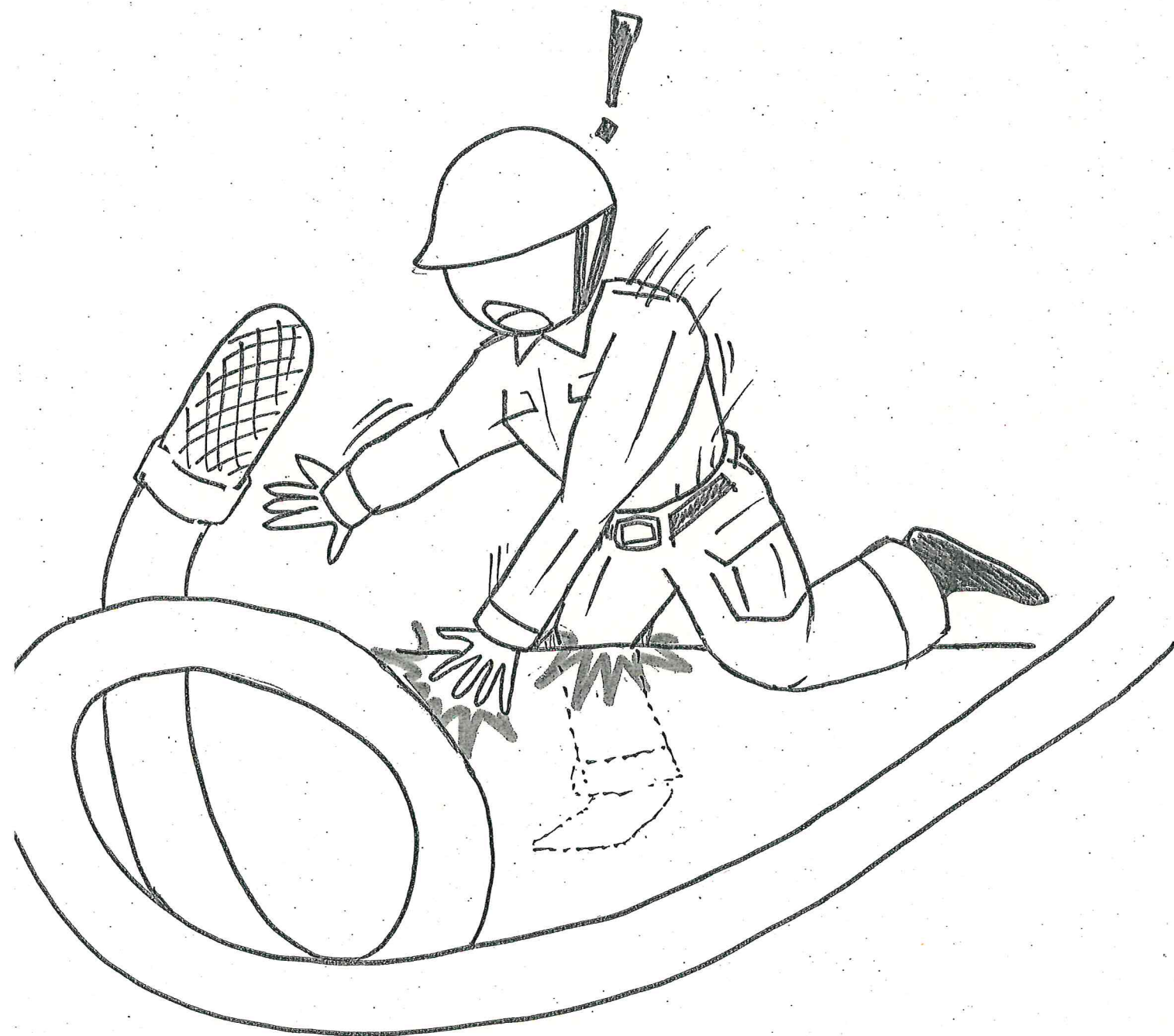
○活動環境の対策について

市町村の担当部局により該当の側溝の隙間は改善された。

○指揮・情報伝達の対策について

該当なし

災害発生状況図



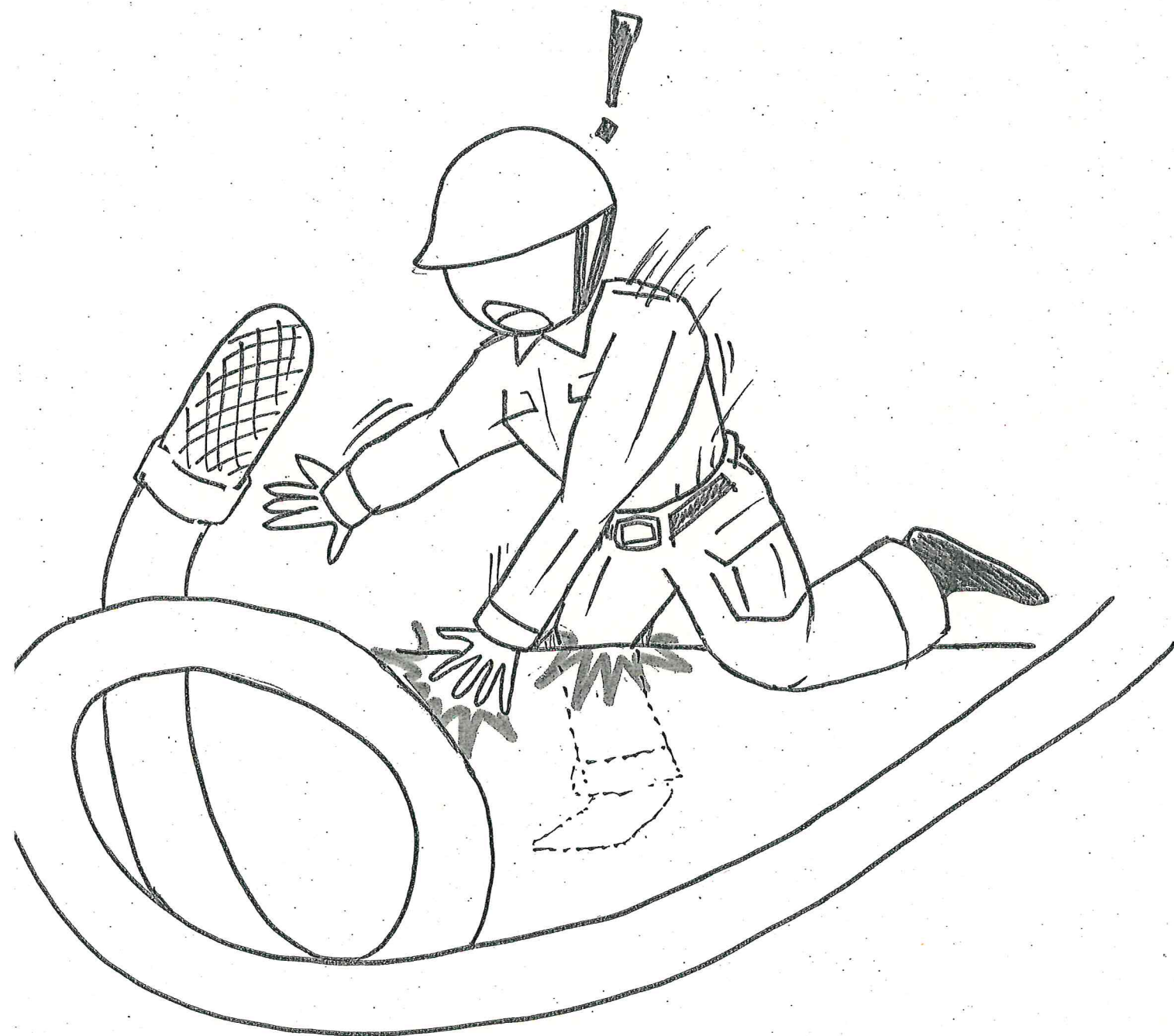


事故現場全景を西側から撮影



側溝の間隙部分を撮影

災害発生状況図





事故現場全景を西側から撮影



側溝の間隙部分を撮影